

# やまぐちっ子学力向上だより

第 150 号 R6.9.2

山口県教育庁義務教育課

## 子どもたちが自分で考え、自分から取り組む授業の実現を

令和6年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

小学校では、国語が全国平均と同程度、算数が全国平均を上回るという結果でした。

中学校では、国語が全国平均と同程度、数学が全国平均を下回るという結果でした。

【小学校】※（ ）は全国平均正答率

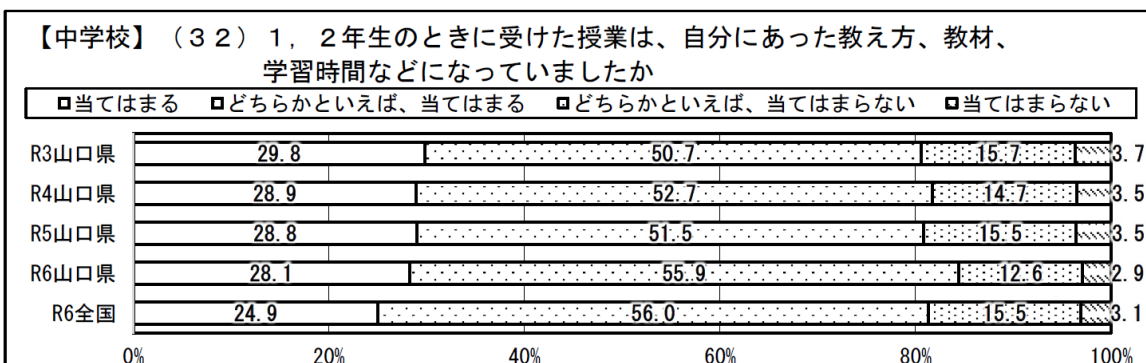
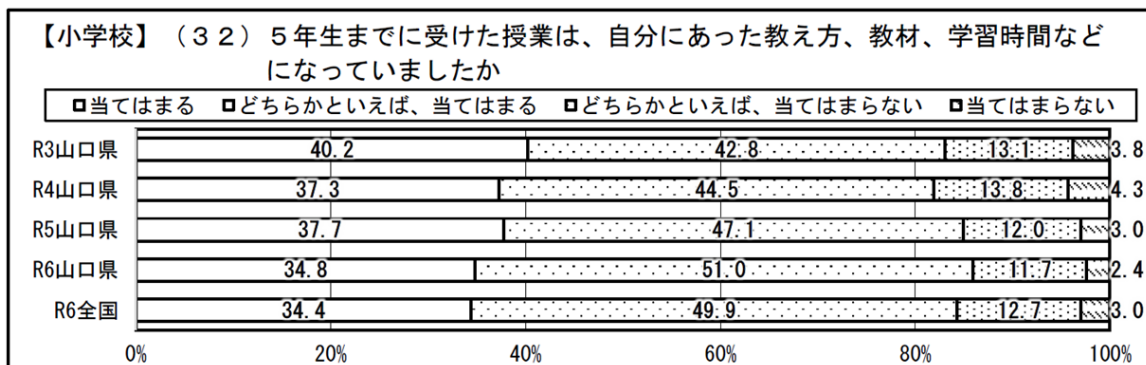
	山口県の平均正答率%	
国語	68	(67.7)
算数	64	(63.4)

【中学校】※（ ）は全国平均正答率

	山口県の平均正答率%	
国語	58	(58.1)
数学	52	(52.5)

### 質問調査結果からみえてくる授業改善の視点

今年度の児童生徒質問調査の中で、「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」という設問がありました。回答結果は、下のとおりです。



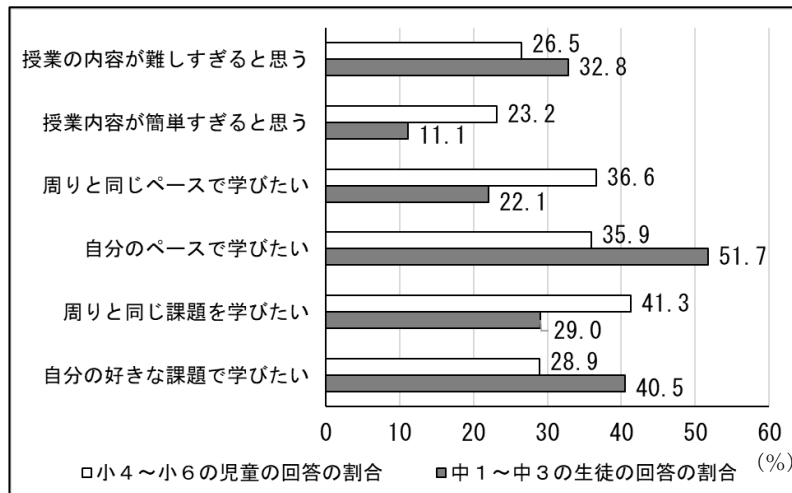
小・中学校ともに、肯定的に回答する児童生徒の割合が、全国平均よりも上回っていることが分かります。しかし、「当てはまる」の回答に着目して、経年変化を追っていくと、小・中学校ともに令和3年度以降で最も低く、年々低下してきています。

さらに、この設問の回答状況と各教科の平均正答率の関連を示したクロス集計は、次頁のようになっています。

5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。		児童数	児童数の割合(%)	平均正答率(%)	
				国語(14問)	算数(16問)
1	当てはまる	3,445	34.9	72.2	67.8
2	どちらかといえば、当てはまる	5,043	51.0	67.7	63.0
3	どちらかといえば、当てはまらない	1,148	11.6	61.5	56.6
4	当てはまらない	239	2.4	62.2	56.7

1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。		生徒数	生徒数の割合(%)	平均正答率(%)	
				国語(15問)	数学(16問)
1	当てはまる	2,697	28.3	62.2	58.6
2	どちらかといえば、当てはまる	5,337	55.9	57.7	51.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	1,195	12.5	52.7	45.3
4	当てはまらない	267	2.8	45.3	36.6

肯定的に回答している児童生徒に比べて、否定的な回答をしている児童生徒の平均正答率が低くなっています。さらに、この設問に関連して文部科学省が令和5年1月～2月に実施した「義務教育に関する意識に係る調査」では、次の結果が示されています。



小学校では、授業内容が難しすぎると思う児童の割合は26.5%、簡単すぎると思う児童の割合は23.2%であり、ちょうどよいと思っているのは学級の約半数しかないことが調査結果から分かります。中学校になると、小学校と様子が変わり、難しすぎると思う生徒の割合が増加し、簡単すぎると思う生徒の割合が減少します。このことは、不登校の要因として最も多く挙げられる「無気力、不安」につながることも考えられます。また、周りと同じペースで学びたいという生徒の割合が減り、自分のペースで学びたいという生徒の割合が約半数にまで増加しています。

この度の全国学力・学習状況調査においても、山口県の課題として、学力低位層の児童生徒の割合が多いことが挙げられます。学力低位層の児童生徒への支援の充実を図る上で、「皆が同じようなことを、同じペースで、同じやり方で学ぶ」という学び方のみで対応していくことは、この調査結果からも難しい状況にあることが分かります。

授業改善の方向性の一つとしては、「めあてに対して何ができるようになったか、分かるようになったか」「どのようにしてできるようになったか」「次は、どのようなめあてをもって学んでいきたいか」という視点から振り返りを行い、児童生徒が自身の学習理解度に応じて学習を進めたり、立ち止まったりできる時間を単元の中で数時間確保できるようにすることも大切です。各学校においても、調査結果から見られる成果や課題を多くの人々と共有し、課題解決に向けての取組を進めていきましょう。